



支援室だより

大阪府立思斉支援学校
令和7年度 第1号

予定や状況の変化に対応できることをめざした指導

対象の実態及び課題

一定の理解言語はあるが、適切な表出手段は有していない。行事等で予定を変更すると、情緒的に不安定になる。視覚情報の処理は得意で指導に生かしていきたい力である。予定や状況の変化に、スムーズに対応できることが課題である。

指導目標

- ・スケジュール表に学習の順番通りに写真カードをセットすることができる。
- ・写真カードの順番に従って学習を進め、終了した課題の写真カードを所定の位置に入れることができる。
- ・指導者が写真カードの順番を入れ替えても、順番に従って学習できる。

学習内容 指導方法

○スケジュール管理学習

- ① 見本を手がかりにその日の学習予定を立てる(写真カードをスケジュール表にセットする)。
 - ・児童(生徒)の実態に応じて、写真や絵カード、文字カードを使用する。
- ② 写真カードの順番に従って学習を進める。
 - ・上から順番に課題を進めていくように促す。
- ③ 課題が一つ終了したら、所定の位置(おしまいボックス)に写真カードを入れる。
 - ・①～③がスムーズにできるようになってきたら、指導者が意図的に写真カードの順番を入れ替えて予定の変更を児童(生徒)に伝える。
 - ・事前にことばと写真カードで課題の順番が変わることを知らせる。
- ④ 予定が変わっても、写真カードの順番に従って学習を進める。

〈自立活動の内容の6区分27項目より〉

2 心理的な安定

- (1) 情緒の安定に関すること。
- (2) 状況の理解と変化への対応に関すること。
- (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。

4 環境の把握

- (1) 保有する感覚の活用に関すること。
- (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。
- (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。
- (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。
- (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。